

形成外科・顎顔面外科 *Plastic Surgery・Maxillofacial Surgery*

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

○中川 浩志(総合診療センター長、創傷ケアセンター長、総合診療部主任部長)

1991年長崎大学医学部卒

専門分野: 先天異常、外傷・顔面骨骨折、手外科、熱傷、褥瘡、難治性潰瘍

資格: 日本専門医機構形成外科専門医、日本形成外科学会形成外科領域指導医・皮膚腫瘍外科分野指導医・小児形成外科分野指導医・再建・マイクロサージャリー分野指導医、日本熱傷学会熱傷専門医、日本褥瘡学会認定褥瘡医師、日本創傷外科学会創傷外科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○西 建剛(主任部長)

2003年熊本大学医学部卒

専門分野: 眼形成外科、顎顔面外科、熱傷

資格: 日本専門医機構形成外科専門医、日本形成外科学会形成外科領域指導医・小児形成外科分野指導医、日本熱傷学会熱傷専門医、日本美容外科学会美容外科専門医、日本医師会認定産業医、厚生労働省臨床研修指導医

○石野 憲太郎(部長)

2006年愛媛大学医学部卒

専門分野: マイクロサージャリー、再建

資格: 日本専門医機構形成外科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○岡田 将誉(医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)

2013年自治医科大学卒

専門分野: 形成外科全般

資格: 日本専門医機構整形外科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名	2023	2024	2025
新鮮熱傷	9	9	4
顔面骨骨折	27	27	32
顔面軟部組織損傷	5	6	3
唇裂口蓋裂	25	24	17
手足の先天性異常	5	5	5
手足の外傷	18	20	17
その他の先天性異常	10	8	8
母斑・血管腫・皮膚良性腫瘍	83	54	78
悪性腫瘍およびその再建	16	20	14
瘢痕・瘢痕拘縮	11	6	9
褥瘡・難治性潰瘍	7	24	16
その他	13	8	6
合計	229	211	209

■ 疾患別手術件数

疾患名	2023	2024	2025
外傷	93	81	79
先天異常	54	56	47
腫瘍	222	187	181
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	14	22	15
難治性潰瘍	40	42	78
炎症・変性疾患	9	12	34
その他	5	2	4
Extra レーザー治療	153	164	177
合計	590	566	615

3. 2026年度目標

- (1) 創傷ケアセンターの中心的な役割を受け持ち、褥瘡・末梢動脈閉塞性疾患・糖尿病性潰瘍壊疽・術後創離開等の専門的な治療の充実
- (2) 日本熱傷学会熱傷専門医認定施設: 専門医による熱傷患者のトータル的な治療と熱傷医の育成
- (3) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科と共同して行う斜鼻・鼻中隔湾曲症手術の治療成績向上
- (4) 積極的に唇顎口蓋裂患者を受け入れ、歯科・矯正歯科・新生児内科と共同して集学的治療を行う

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 西建剛、樫山和也、境隆博. MRD-1を用いた加齢性眼瞼下垂症の術前術後評価—良いCAPが素晴らしいDに繋がる—。第68回日本形成外科学会総会・学術集会。東京 (2025.4.16-18)
2. 西建剛、中川浩志、石野憲太郎、岡田将誉. 頬骨骨折整復における改善度の調査。第54回愛媛形成外科研修会。松山 (2025.6.21)
3. 西建剛、樫山和也、中川浩志. 段階的手術で治療した重度眼瞼痙攣、開瞼失行の1例。第17回日本創傷外科学会総会・学術集会。東京 (2025.7.3-4)
4. 岡田将誉、中川浩志、西建剛、石野憲太郎. 痛風関節炎の合併が診断の遅れを招いた劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の1例。第87回中国・四国形成外科学会。山口 (2025.9.7)
5. 西建剛、境隆博、樫山和也. 術前術後 Margin Reflex Distance-1 変化量と加齢性眼瞼下垂症の術式の後方視研究。第48回日本美容外科学会総会。東京 (2025.9.25-26)
6. 西建剛、中川浩志、石野憲太郎、岡田将誉、境隆博、樫山和也. 挙筋機能でみた退行性眼瞼下垂症の術前術後経時的変化。第34回日本形成外科学会基礎学術集会。鹿児島 (2025.10.16-17)
7. 石野憲太郎、中川浩志、西建剛、岡田将誉. 遊離空腸後に生じた下咽頭がん術後咽頭皮膚瘻の3例。第55回愛媛形成外科研修会。松山 (2025.12.6)
8. 西建剛、中川浩志、石野憲太郎、岡田将誉. 段階的手術で治療した重度眼瞼痙攣、開瞼失行の1例。第55回愛媛形成外科研修会。松山 (2025.12.6)